

平成 25 年度
当初予算案の主要事業

平成 25 年 2 月
浜 松 市

目 次

	頁
[危機管理監]	
(1) 区版避難行動計画について……………	1
(2) 津波対策事業……………	2
(3) 地域防災無線整備事業……………	3
[企画調整部]	
(4) シティプロモーション事業……………	4
(5) (仮)未来ビジョンの策定について……………	5
(6) 創造都市ネットワーク事業……………	6
(7) みんなのはままつ創造プロジェクト事業……………	7
(8) 浜松ITキッズプロジェクト推進事業……………	8
(9) 知と文化の交流事業……………	9
(10) 外国人の子どもの就学促進事業……………	10
(11) 多文化共生のまち発信事業……………	11
[財務部]	
(12) 借地解消・借地料の見直しについて……………	12
(13) 本庁舎非常用発電機の更新について……………	13
(14) 土地開発公社の解散について……………	14
[市民部]	
(15) DV相談支援センターの設置について……………	15
(16) 市民協働推進事業……………	16
(17) 二俣協働センター・天竜図書館改修事業……………	17
(18) 中山間地域生活支援事業……………	18
(19) 防犯灯設置維持管理助成事業（補助金）……………	19
(20) アクトシティ浜松施設整備事業……………	20
(21) 鴨江別館アートセンター化について……………	21
(22) 新活動拠点施設整備事業……………	22
(23) 小中学校スポーツ施設夜間照明等整備事業……………	23
(24) 舞阪文化センター機能移転改修事業……………	24
(25) 北部地域図書館建設事業……………	25
(26) 天竜区船明地区墓地整備事業……………	26

[健康福祉部]

(27) 障害者就労支援事業	27
(28) 障害者(児)施設整備費助成事業(補助金)	28
(29) 地域高齢者見守り・支援事業	29
(30) 敬老支援事業	30
(31) 高齢者社会参加促進事業	31
(32) 認知症疾患医療センター運営助成事業	32
(33) 老人福祉施設整備費助成事業	33
(34) 保育所等巡回支援事業	34
(35) 生活保護扶助事業	35
(36) 引佐鎮玉診療所移転事業について	36
(37) 特定不妊治療支援事業について	37
(38) 子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業について	38
(39) 動物愛護教育センター整備事業	39
(40) 国民健康保険料の見直しについて	40
(41) 浜松市リハビリテーション病院整備事業について	41
(42) 佐久間病院医師・看護師確保対策事業について	42

[こども家庭部]

(43) 放課後児童会施設整備事業	43
(44) 私立幼稚園就園奨励助成事業	44
(45) 児童家庭支援センター設置運営事業	45
(46) 子育て支援ひろば事業	46
(47) 発達支援広場事業	47
(48) 母子家庭等医療費助成事業	48
(49) 乳幼児医療費助成事業	49
(50) 民間保育所施設整備助成事業(補助金)	50

[環境部]

(51) 第4清掃工場整備事業	52
(52) ごみ減量・リサイクル推進事業	53
(53) 可燃・不燃ごみ、資源物等収集業務について	54
(54) 省エネルギー改修推進事業	55

[産業部]

(55) 緊急雇用事業について	56
(56) 求職者就労支援事業	58
(57) 農商工連携・6次産業化推進事業	59
(58) 企業の農業参入推進事業	60
(59) フルーツパーク管理運営事業	61
(60) 新規就農者育成支援事業	62
(61) 環境負荷低減・先進的技術導入支援事業（補助金）	63
(62) 耕作放棄地対策事業	65
(63) 天竜材の家百年住居る助成事業	66
(64) 林業機械・施設緊急整備助成事業（補助金）	67
(65) 経営力強化資金について	68
(66) 組込みソフトウェア技術コンソーシアム負担金について	69
(67) 海外ビジネス展開支援事業	70
(68) 企業立地促進助成事業（補助金）	71
(69) 企業用地整備事業	72
(70) インバウンド推進事業	73
(71) オートレース場施設改修について	74

[都市整備部]

(72) 地震対策推進事業	75
(73) 公共建築物長寿命化推進事業	76
(74) 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業	77
(75) 西鹿島駅周辺まちづくり計画策定事業	78
(76) 防災都市づくり検討事業	79
(77) バス交通等対策助成事業	80
(78) 区画整理事業について	81
(79) 舘山寺総合公園運営事業	82
(80) 花博記念事業	83
(81) 市営住宅ストック総合改善事業	84
(82) 浜松駅南地下駐車場移管及び改修工事関連経費について	85

[土木部]

(83) スマートインターチェンジ推進事業	86
(84) わかりやすい公共サイン整備事業	87
(85) 原田橋復旧事業	88

[新エネルギー推進事業本部]

(86) 新エネルギー推進事業…………… 89

[天竜区]

(87) 龍山協働センター建設事業…………… 90

[上下水道部]

(88) 浄化槽助成事業…………… 91

[消防局]

(89) 西消防署大平台出張所建設事業…………… 92

(90) 消防車両・救急自動車・消防団車両の整備について…………… 93

(91) 消防・救急無線デジタル化事業…………… 94

[学校教育部]

(92) 30人学級編制の実施について…………… 95

(93) 教育センター移転事業…………… 96

(94) 外国人子ども教育支援推進事業…………… 97

(95) 教育指導支援員配置事業一覧…………… 98

(96) 学校建設事業一覧…………… 99

(97) 雄踏学校給食センター改修事業…………… 100

[その他]

(98) 共通物品・各課事務費の見直しについて…………… 101

項目	区版避難行動計画について					危機管理監
						危機管理課
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	需用費	委託料	使用料及び 賃借料	
8,676		600	3,282	3,794	1,000	

目的	<p>新規に区版避難行動計画の点字版・録音版を作成し、災害弱者と呼ばれる方々に配布する。</p> <p>また、区版避難行動計画の策定を受け、区ごと固有の防災課題に沿った防災啓発事業を実施する。</p>
背景	<p>平成 24 年度に作成配布する区版避難行動計画には視覚障害者に配慮したものが無い ため、新たに作成する必要がある。</p>
内容	<p>1. 区版避難行動計画の作成、配布 (地域防災計画整備事業)</p> <p>事業費 3,076 千円 (印刷製本費、作成業務委託料など)</p> <p>(1) 視覚障害者向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字版 ・録音版 (CD、テープ) <p>[配布先] 広報点字版及び広報録音版の配布先、希望者 ⇒広報で告知 (平成 24 年 4 月 1 日現在 1,736 人)</p> <p>(2) 通常版</p> <p>平成 25 年 6 月公表予定の「静岡県第 4 次地震被害想定」を踏まえ、 必要に応じて内容の見直しを行う。</p> <p>2. 【新規】区版避難行動計画実践のための各区防災啓発事業 (市民防災意識啓発事業)</p> <p>事業費 5,600 千円 (委託料など、7 区合計)</p> <p>各区固有の防災課題に沿った各区版避難行動計画の策定に伴い、区ごとに 防災啓発事業を実施し、住民へ区版避難行動計画の浸透を図る。</p> <p>各区の防災課題に応じた事業計画を作成し実施する。</p>

項目	津波対策事業					危機管理監	
						危機管理課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	旅費	役務費	委託料	工事 請負費	負担金補助 及び交付金
375,394		832	3,006	76	86,500	234,980	50,000

目的	浜松市の津波対策の見直しを重点的に行い、津波による人的被害を最小限にすることを目的として、津波避難施設の整備、津波防災地域づくり計画策定に伴う事業を行う。
背景	平成23年3月11日の東日本大震災における仙台平野の津波被害の状況より、東西約18kmの遠州灘を有する浜松市では、第3次被害想定を越える津波が心配される。
内容	<p>1. 知らせる対策 9,259 千円</p> <p>(1) 津波避難標識の増設 津波避難ビル標識、公共施設への避難案内標識 の設置</p> <p>2. 逃げる対策 287,597 千円</p> <p>(1) 津波避難タワーの新設 2ヶ所 の新設を予定</p> <p>(2) 屋上避難施設等の整備 公共施設 4ヶ所 への設置を予定</p> <p>(3) 津波避難施設等整備事業費補助金 民間事業者等による津波避難施設設置 に対し補助</p> <p>※津波避難施設新規整備箇所は、平成25年6月の静岡県第4次地震被害想定を踏まえて選定。</p> <p>3. 防ぐ対策 60,000 千円</p> <p>(1) 三者基本合意に基づく調査 「浜松市沿岸域の防潮堤等の整備に関する基本合意」に基づく調査費</p> <p>4. 津波防災地域づくり推進計画 15,532 千円</p> <p>(1) 津波防災地域づくり推進計画策定 推進計画策定検討業務： 地域特性等を踏まえた津波に対する脆弱性を分析・評価し、今後の施策・事業の検討を行い、推進計画(案)を策定する。</p>

項目	地域防災無線整備事業				危機管理監	
					危機管理課	
25 事業費（千円）	内容 （千円）	委託料	工事 請負費			
50,155		1,578	48,577			

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内及び防災関係機関において、災害時等における迅速・正確な情報の収集及び伝達手段を整備するため。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市町村単位に整備していた防災無線では、当該地域をまたぐ通信ができないため、全市域一体となった防災デジタル無線の整備が必要となっている。 ・現行のアナログ方式の消防救急無線が平成28年5月31日に使用期限を迎えるため、それまでに消防救急無線のデジタル化と一体となって整備を進める。
内容	<p>1. 整備状況</p> <p>平成21～22年度 旧浜松市域・浜北区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所本庁統制局、消防局副統制局、太平洋富士見平中継局、子局325台整備済 <p>平成23～24年度 西・北区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尉ヶ峰中継局、子局52台 整備中 <p>平成25～26年度 天竜区域 整備予定</p> <p>（中継局等については、一部を除き消防救急無線と共有することとして整備する。）</p> <p>2. 事業費 722,800千円（天竜区域、平成25～26年度）</p> <p>平成25年度 49,000千円 中継局、子局整備</p> <p>平成26年度 673,800千円 ” （※債務負担行為設定）</p> <p>1,155千円（尉ヶ峰中継局、平成25年度）</p> <p>防災行政無線施設用地境界標復元委託</p> <p>3. 整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中継局 <ul style="list-style-type: none"> 天竜消防中継局、秋葉山中継局、羽ヶ庄中継局 ・子局 <ul style="list-style-type: none"> 76台：天竜区役所・避難所等、災害11部、物資集積所等

項目	シティプロモーション事業					企画調整部	

25 事業費（千円）	内容 （千円）	報償費	旅費	需用費	役員費	委託料	その他
61,075		1,360	1,474	3,655	8,225	44,950	1,411

目的	多様なメディアやツール、手法を組み合わせた戦略的なシティプロモーションの展開により、都市の知名度やイメージを向上するとともに、国内外の人から信用され、好まれ、選ばれる都市ブランドを確立する。
背景	都市間競争に打ち勝ち、地域を活性化させていくため
内容	<p>1 「出世の街浜松」のPR戦略および情報発信 戦略的メディアリレーション業務や全国プロモーションキャンペーン業務などのシティプロモーション事業を集約させ、一貫性のあるコーディネートやストーリー性のある情報発信を目指す。</p> <p>2 【新規】FB良品サイト運営事業 FB良品サイト（自治体運営型通信販売サービス）を利用し、「浜松市の良いもの」を全国発信することにより、浜松市をPRしブランド力向上を図る。</p> <p>3 【新規】徳川家康公顕彰400年記念事業 静岡市、岡崎市、浜松市の行政と商工会議所、及び静岡県が一体となり、のぼり旗制作や徳川家康公検定を実施し、平成27年に開催される徳川家康公顕彰400年記念事業の機運を高める。</p> <p>4 【新規】出世大名家康くん浜松城公園等登場業務 「出世の街浜松」のPRとして、「出世大名家康くん」を浜松城公園に、定期的に登場させることで、浜松城への集客を高め、市の認知度、魅力度の向上を目指す。</p> <p>5 大都市圏（首都圏・中京圏・関西圏）シティプロモーション ①シティプロモーション情報誌「HAMA流」制作 主に首都圏在住のビジネスパーソンをターゲットにした情報誌を年3回編集・発行（毎回11万部）する。 ②ペイドパブリシティ 大都市圏で浜松市の魅力をPRするため、戦略的にペイドパブリシティを展開する。</p>

項目	(仮)未来ビジョンの策定について (浜松市総合計画推進事業)					企画調整部	
						企画課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	旅費	委託料			
6,467		564	300	5,603			

目的	平成 27 年度からの市政運営の根幹となる次期総合計画「(仮)未来ビジョン」の策定準備を進める。
背景	平成 27 年 3 月 第 2 次浜松市総合計画(平成 23 年度～平成 26 年度)終了
内容	<p>1 (仮)未来ビジョンの体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体系： 基本構想(長期) 基本計画(中期) 実施計画(短期) ・人口推計等の客観的数値に基づいたビジョンとする。 <p>2 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来ビジョン策定委員会の設置 委員構成：企業や民間団体、大学等、各分野の専門家（市内在住）など ・市民の期待分析調査 Web 上のビッグデータや市民アンケートの蓄積、市民の声データを活用して市民意識を分析し、今後の市政に求められる市民の期待を表す ・研究調査 ・市民 100 人インタビューの実施 <p>3 今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> H25. 5～8 市民 100 人インタビューの実施 H25. 9 策定委員会の立ち上げ（～H26. 12） H25. 9～12 市民の期待分析調査 H26. 8 パブリックコメント／市議会提案 H27. 4 未来ビジョンスタート

項目	創造都市ネットワーク事業					企画調整部	
						企画課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	旅費	需要費	役務費	委託料	負担金
7,333		200	1,030	1,251	2	3,850	1,000

目的	「創造都市・浜松」の実現に向け、ユネスコ創造都市ネットワークへ加盟することで、浜松の音楽文化を世界に発信するとともに、他都市との連携や交流を図り、「音楽の都づくり」を推進していく。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 8 月 第 1 回浜松創造都市推進会議開催時に加盟を目指す公表 平成 23 年 3 月 ユネスコに加盟申請書を提出 平成 23 年 11 月 ユネスコの財政事情によりネットワーク事業審査手続きが停止 平成 24 年 7 月 市長が渡仏、加盟協力依頼のためユネスコ日本政府代表部訪問
内容	<p>1 他都市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会参加 国内創造都市ネットワーク会議参加 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市負担金 創造都市ネットワークジャパン参加負担金 など <p>2 浜松の音楽文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコ登録ロゴデザイン、PR用DVDの作成 ユネスコ報告書、市民啓発用パンフレット作成 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定PR懸垂幕製作・設置 <ul style="list-style-type: none"> 懸垂幕製作 : 9本 設置場所 : 市役所本庁、中区以外区役所、アクトシティ、メイワン 音楽都市壁面広告製作・設置 <ul style="list-style-type: none"> 設置場所 : 駅北駐車場壁面 (300 m²)

項目	みんなのはままつ創造プロジェクト事業					企画調整部	
						企画課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	旅費	需用費	役務費	使用料	補助金	
50,413		40	305	48	20	50,000	

目的	第2次浜松市総合計画に掲げた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向けて、市民活動団体や民間企業等が主体的に企画・実施する創造的・独創的な取り組みに対し、スタートアップの資金を助成する。
背景	平成23年 市制100周年記念事業として「100夢プロジェクト」実施
内容	<p>1 みんなのはままつ創造プロジェクト補助金 創造都市実現を目的とした民間企業や市民活動団体の主体的な取り組みに対し、必要な費用を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上限 : 100万円 ・ 最大事業数 : 50件 ・ 補助金 : 50,000千円 <p>2 みんなのはままつ創造プロジェクト審査委員会の開催 採択事業を審査。</p> <p>3 採択事業報告会の開催 採択事業者間のネットワークを構築し、異業種連携の促進を図る。</p>

項目	浜松 IT キッズプロジェクト推進事業						企画調整部
							企画課
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金					
6,000		6,000					

目的	<p>将来の浜松の IT 産業を担う人材を育成するため、ロボットの組み立てや組み立てたロボットの制御プログラムの作成等を通じて、IT 分野に係る才能豊かな子どもを育成する。</p>
背景	<p>市長マニフェスト「理数、外国語、音楽、美術などの課外特別講座の創設」の実施</p>
内容	<p>1 概要 平成 24 年度に NPO 法人浜松ソフト産業協会、静岡大学、浜松理科教育研究会、浜松市、浜松科学館で組織、設立した浜松 IT キッズプロジェクト推進会議により、IT 分野の才能を伸ばすためのカリキュラムによる課外講座を継続運営する。</p> <p>2 内容 対 象：初級クラス 小学 3・4 年生 (定員 24 名) ※新規募集 中級クラス 小学 4 年生 (定員 24 名) ※平成 24 年度からの継続者 講座内容：プログラミング、PC 操作、IT 英語、IT 算数、IT 理科</p> <p>3 事業費 6,000 千円 (負担金) 負担金交付先：浜松 IT キッズプロジェクト推進会議 アプリ作成委託 会場費 講演謝礼 など</p>

項目	知と文化の交流事業						企画調整部
							企画課
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金					
4,000		4,000					

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各分野の第一線で活躍する著名人、文化人と市民の知と文化の交流を通じ、地域文化の活性化を図る。 「エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 浜松」で芽生えた文化に対する市民意識を醸成する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度に創造都市推進事業の一環として「エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 浜松」を開催。 長岡市、高知市、下関市、会津若松市では、エンジン 01 の後継事業を実施し、オープンカレッジにおいて芽生えた文化に対する市民意識を醸成するとともに、その都市を訪れる文化人にブログで情報発信をしてもらうなど、シティプロモーションにも役立っている。
内容	<p>1 事業内容</p> <p>開催時期：未定 (2 日間)</p> <p>開催場所：アクトシティ浜松</p> <p>催事内容：1 日目 開講式、シンポジウム、夜楽 2 日目 講座、閉講式、講師交流会</p> <p>2 事業費 4,000 千円 (負担金)</p> <p>負担金交付先：(仮称)知と文化の交流事業実行委員会</p> <p>出演者関係費 会場関係費 広報関係費 など</p>

項目	外国人の子どもの就学促進事業						企画調整部	
							国際課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料						
20,616		20,616						

目的	<p>平成 23 年度から 3 か年計画で実施している「外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業」の 3 年目の取り組みとして、きめ細やかな支援と不就学を生まない仕組みの構築を行う。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・市長マニフェスト「外国人児童生徒の不就学を解消します」の実施 ・平成 25 年 1 月末現在の不就学者数：13 人
内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) きめ細やかな支援の実施 不就学家庭の面談、就学案内、カウンセリング等</p> <p>(2) 支援教室の実施 不就学状況にある外国人の子どもや、学校に通っていても支援の必要な外国人の子どもを対象に、支援教室を開催する。</p> <p>(3) 将来にわたり不就学を生まない仕組みの構築 きめ細やかな支援の実施をはじめ、将来に渡り不就学を生まない仕組みを構築し、次年度のスキーム確立へと繋げる。</p> <p>2 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務長 1 人 (新規雇用) ・事務員 1 人 (新規雇用) ・就学支援員 2 人 (内 1 人は新規雇用) など <p>※国の緊急雇用創出事業を活用</p>

項目	多文化共生のまち発信事業						企画調整部
							国際課
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	負担金					
6,000		6,000					

目的	<p>全国最多のブラジル人が居住しているという本市の特徴を活かし、市民によるチーム及び全国からのチームが参加するサンバコンテストを開催することを通じ、日本人市民と外国人市民の交流を促進するとともに、多文化共生都市・浜松を全国に発信する。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年から毎年、浜松サンバフェスティバルを開催 ・平成 23 年からは浜松カップ「フェスタ・サンバ」としてサンバコンテストを開催
内容	<p>1 事業概要</p> <p>開催時期：平成 25 年 10 月 6 日 (日)</p> <p>会 場：浜松市中心街</p> <p>内 容：浜松市民によるチームと、全国のサンバチームによる、パレード形式のサンバコンテスト</p> <p>※市民団体によるまちなかイベントと連携して実施予定</p> <p>2 事業費 6,000 千円 (負担金)</p> <p>負担金交付先：浜松カップ「フェスタ・サンバ」実行委員会 (予定)</p> <p>会場設営等委託</p> <p>会場警備委託</p> <p>参加促進経費助成</p> <p>使用料及び賃借料 など</p>

項目	借地解消・借地料の見直しについて (資産経営推進事業)					財務部	
						資産経営課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	役務費	委託料				
23,500		19,000	4,500				

目的	借地の解消及び借地料の見直しにより、借地の適正化を推進することで借地料総額の圧縮を図る。
背景	平成 21 年 4 月 「市施設敷地の借用に関する方針」 策定 平成 24 年 8 月 「借地適正化計画」 を策定
内容	<p>1 事業の概要</p> <p>(1) 借地返還に伴う登記及び測量</p> <p>(2) 重点対象施設の継続賃料鑑定 重点対象施設の選定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借地料が年額 100 万円以上の施設 ・標準借地料との乖離が 1.2 倍以上の施設 <p>2 スケジュール</p> <p>平成 24 年度 借地の購入、借地料の見直しにかかる市の方針を周知 関係課を対象とした説明会開催 関係地権者への説明、依頼</p> <p>平成 25 年度～平成 26 年度 個別交渉を行い、購入又は借地料の見直し</p>

項目	本庁舎非常用発電機の更新について (庁舎等整備事業)					財務部	
						資産経営課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事請負費				
26,050		450	25,600				

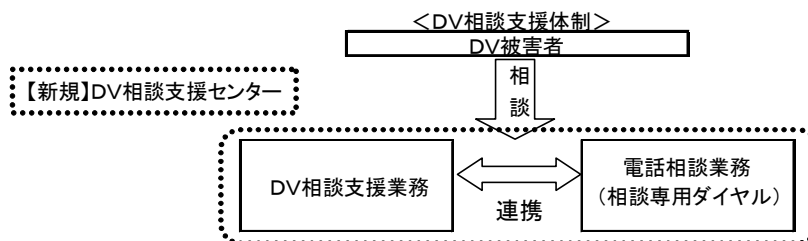
目的	大規模災害により電力供給が途絶えた時、災害対策本部の運営、医療支援、地域支援などさまざまな災害対策業務を行うための電源を確保するため、本庁舎の老朽化した非常用発電機及び燃料タンクを更新するもの。																													
	内容	<p>1 整備の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>更新前</th> <th>更新後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置年度</td> <td>昭和 55 年</td> <td>平成 25 年</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>1,000KVA</td> <td>1,250KVA</td> </tr> <tr> <td>連続運転能力</td> <td>72 時間</td> <td>168 時間</td> </tr> <tr> <td>無給油連続運転時間</td> <td>8 時間</td> <td>36 時間</td> </tr> <tr> <td>タンク容量</td> <td>1,950ℓ</td> <td>6,000ℓ</td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>A 重油</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>供給範囲</td> <td>災害対策本部など 本館の一部</td> <td>本館全体(空調除く) ※北館は除く</td> </tr> </tbody> </table>						区分	更新前	更新後	設置年度	昭和 55 年	平成 25 年	出力	1,000KVA	1,250KVA	連続運転能力	72 時間	168 時間	無給油連続運転時間	8 時間	36 時間	タンク容量	1,950ℓ	6,000ℓ	燃料	A 重油	軽油	供給範囲	災害対策本部など 本館の一部
区分		更新前	更新後																											
設置年度	昭和 55 年	平成 25 年																												
出力	1,000KVA	1,250KVA																												
連続運転能力	72 時間	168 時間																												
無給油連続運転時間	8 時間	36 時間																												
タンク容量	1,950ℓ	6,000ℓ																												
燃料	A 重油	軽油																												
供給範囲	災害対策本部など 本館の一部	本館全体(空調除く) ※北館は除く																												
<p>2 事業費及びスケジュール (予定)</p> <table> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>設計委託</td> <td>5,000 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>監理委託</td> <td>450 千円</td> <td>工事費</td> <td>25,600 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>監理委託</td> <td>4,050 千円</td> <td>工事費</td> <td>230,400 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							平成 24 年度	設計委託	5,000 千円					平成 25 年度	監理委託	450 千円	工事費	25,600 千円			平成 26 年度	監理委託	4,050 千円	工事費	230,400 千円					
平成 24 年度	設計委託	5,000 千円																												
平成 25 年度	監理委託	450 千円	工事費	25,600 千円																										
平成 26 年度	監理委託	4,050 千円	工事費	230,400 千円																										

項目	土地開発公社の解散について						財務部	
							資産経営課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	補償金	貸付金					
3,032,926		2,848,426	184,500					

目的	<p>浜松市土地開発公社は、これまで市の事業用地の先行取得などを実施してきたが、地価の下落・低迷にともない公社を活用した先行取得の経済的メリットが薄れた。そのため、第三セクター等改革推進債の活用により公社債務を解消し、公社の解散手続きを進める。</p>
内容	<p>1 解散スケジュール (予定)</p> <p>9 月定例会 ・ 公社解散議案 ・ 第三セクター等改革推進債許可議案 ・ 債権放棄議案</p> <p>25 年 10 月 主務大臣への公社解散認可申請 26 年 1 月 公社解散認可 26 年 3 月 公社清算終了</p> <p>2 予算額</p> <p>(歳出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補償金 2,848,426 千円 金融機関への公社債務の弁済 ・ 諸支出金 184,500 千円 公社への貸付金 <p>(歳入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市債 3,032,900 千円 第三セクター等改革推進債

項目	DV相談支援センターの設置 について				市民部 ユニバーサル社会・男女 共同参画推進課		
					こども家庭部 子育て支援課		
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	旅費	需用費	役務費	委託料	その他	
3,213		115	642	6	2,445	5	

目的	DV相談の第一歩として専用電話を設置し、被害者が相談しやすくなる事で被害者の潜在化を防ぎ、次のステップにつなげ、被害者の立場に立った切れ目のない支援を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談の中でDVに関する相談割合が増加、内容が複雑化している 男女共同参画に関する市民意識・実態調査において、暴力を受けたことがある人の「相談しなかった」の割合が38.6%と高い
内容	<p>浜松市DV相談支援センターを設置し、以下の業務を行う。</p> <p>1 DV相談支援業務</p> <p>所管課 : 子育て支援課 DV相談支援センター業務を統括する</p> <p>職員 : 保健師、臨床心理士</p> <p>業務 : 面接相談、被害者への精神的サポートなど</p> <p>2 電話相談業務</p> <p>所管課 : ユニ・男女課 (DV防止支援事業) DV相談支援センター業務の一部機能を担う 業務は委託により実施</p> <p>時間 : 午前10時から午後4時 (年末年始を除く毎日)</p> <p>業務開始 : 平成26年1月</p>



項目	市民協働推進事業						市民部	
							市民協働・地域政策課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	負担金補助金	旅費	報償費	需要費	その他	
7,928		3,300	3,019	323	200	904	182	

目的	市民協働を推進する上でのボトルネックである、「社会の課題を自らの課題としてとらえ、自ら解決のために行動しようという意識」の浸透を広く市民に対して図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年に市民協働推進条例が制定されてから今日まで、市民協働を推進する様々な施策を打ってきたが、市民、市民活動団体、事業者及び市が連携し、豊かで活力ある市民主体の地域社会の実現には至っていない。 24 年度市民アンケート、市政への満足度評価で「市民協働による地域づくり」の評価が「どちらともいえない」が 7 割強であったことから、協働意識の浸透が不十分であると考えられる。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 【新規】NPO 法人向け研修会の開催 はままつ夢基金登録団体向けに PR 手法を学ぶ研修会を開催し、NPO 法人の活動を積極的に PR することで、市民・企業等からの寄付拡大に取り組む。 【新規】NPO と学生との協働による“NPO”PR 事業 NPO の PR 力強化と大学生の NPO に対する理解を深めるため、学生と NPO 法人が協働し、はままつ夢基金登録団体のポスターを作成する。 【新規】夏休み NPO ボランティア体験の開催 小学生から大学生までの学生に対し、市民活動の意識啓発のため、NPO の活動に参加するボランティア体験の実施。 はままつ夢基金事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の事業遂行に係る経費を助成 補助率なし (団体支援補助事業の場合) 団体支援補助事業にて補助を希望する団体は、あらかじめ基金へ登録 (登録審査: 年 4 回を予定) 寄付者は団体指定で寄附 (無指定も可)

項目	二俣協働センター・天竜図書館改修事業						市民部
							生涯学習課 中央図書館
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
6,534		6,534					

目的	老朽化している空調設備の改修工事とエレベーター設置工事を行い、施設の長寿命化とユニバーサルデザイン化による利用者の利便性向上を図る。
背景	昭和 55 年の建設から 32 年が経過し、空調設備の老朽化が深刻な状態である。また、施設利用者からはエレベーターの設置を要望されている。
内容	<p>1 事業内容 空調設備改修工事 エレベーター設置工事</p> <p>2 事業費 6,534 千円 実施設計委託料 6,534 千円</p> <p>3 事業計画 平成 25 年度 実施設計 平成 26 年度 改修工事</p> <div style="text-align: center;">  <p>現在の二俣協働センター・天竜図書館外観</p> </div>

項目	中山間地域生活支援事業					市民部	
						市民協働・地域政策課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	報償費	旅費	需用費	使用料及び賃借料	負担金補助金	その他
26,382		8,960	562	1,189	1,128	6,138	8,405

目的	中山間地域における集落機能の維持・活性化を図る。
背景	人口減少と高齢化の進行に伴う生活扶助機能の低下や集落活力が低下する中で、地域住民の自立を促進する必要がある。
内容	<p>1 外部人材を投入し、地域活力の向上を図る事業 隊員は地域に居住しながら、農林業の支援や、伝統行事や祭典などの企画・実践を手伝い、それらを通して地元の魅力・課題の再発見や、地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のふるさと協力隊の受入れ 活動期間：1年間 派遣者：2名 派遣先：引佐、水窪 ※派遣元：NPO法人地球緑化センター ・【新規】浜松山里いきいき応援隊の創設 活動期間：2年間 派遣者：4名 派遣先：天竜、春野、佐久間、龍山 <p>2 地域組織の再構築を促す事業 地域づくりや地域課題の解決に取り組んでいる住民や活動団体に対し、NPO 法人設立や活動の活性化に向けた講座、講演会、相談会等を開催し、活動を支援する。</p> <p>3 地域住民の居住環境改善を図る事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗用モノレール等整備事業 急傾斜地にあるため公道（車道）から自宅まで歩行困難な住まいの住民に対し、自宅から公道までの乗用モノレール等を整備する場合に補助金を交付。

項目	防犯灯設置維持管理助成事業（補助金）					市民部	
						市民協働・地域政策課	
25 事業費（千円）	内容	補助金					
580,709	（千円）	580,709					

目的	<p>省エネルギー化の促進と電気料金等維持管理経費の削減のため、助成額の大幅な増額によって今後5年間で自治会が設置する防犯灯のLED化を図る。 （24当初：2.7億円 → 25当初：5.8億円）</p>																														
背景	<p>自治会が管理する防犯灯は、平成23年度末で63,855灯あり、毎年約1,000灯が新設または更新されている。（23設置実績：1,030灯 うちLED灯 459灯） また近年の電気料金高騰により維持管理経費が増大している。（24当初電気料：2億円）</p>																														
内容	<p>1 防犯灯にかかる経費の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年12月から公衆街路灯について新料金区分が導入され、「10Wまでの一灯につき」として細分化されたため、LED灯導入による電気料金の削減が見込まれる。 LED灯は、蛍光灯に比べ約7倍光源寿命が長いこと、球交換に要するコスト削減が見込まれる。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>蛍光灯</th> <th>LED灯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均電気料金</td> <td>約 3,200 円／年</td> <td>約 1,500 円／年</td> </tr> <tr> <td>光源寿命</td> <td>約 2 年</td> <td>約 14 年</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 防犯灯設置維持管理補助金の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> LED灯の新規及び更新設置に対する補助に限定する。 LED灯設置にかかる補助額を8,000円増額することにより、自治会負担を軽減し、5年間でLED灯への更新を誘導する。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>現行（～H24）</th> <th>H25～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">設置費</td> <td>共架式（上限）</td> <td>14,400 円</td> <td>22,400 円</td> </tr> <tr> <td>独立式（上限）</td> <td>36,000 円</td> <td>44,000 円</td> </tr> <tr> <td>LED灯加算</td> <td>6,000 円</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">管理維持費</td> <td>電気料</td> <td>全額</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>補修費</td> <td>700 円／灯</td> <td>400 円／灯</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 5年後を目途に電気料については全額補助から自治会一部負担へ変更し、補修費についてはLED化により球交換が不要となるため補助を廃止する。</p>		蛍光灯	LED灯	平均電気料金	約 3,200 円／年	約 1,500 円／年	光源寿命	約 2 年	約 14 年			現行（～H24）	H25～	設置費	共架式（上限）	14,400 円	22,400 円	独立式（上限）	36,000 円	44,000 円	LED灯加算	6,000 円	廃止	管理維持費	電気料	全額	全額	補修費	700 円／灯	400 円／灯
	蛍光灯	LED灯																													
平均電気料金	約 3,200 円／年	約 1,500 円／年																													
光源寿命	約 2 年	約 14 年																													
		現行（～H24）	H25～																												
設置費	共架式（上限）	14,400 円	22,400 円																												
	独立式（上限）	36,000 円	44,000 円																												
	LED灯加算	6,000 円	廃止																												
管理維持費	電気料	全額	全額																												
	補修費	700 円／灯	400 円／灯																												

項目	アクトシティ浜松施設整備事業					市民部	
						文化政策課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	工事請負費					
635,809		635,809					

目的	計画的に施設・設備を更新することにより、施設の長寿命化を図るとともに、施設の安全性を確保する。
背景	アクトシティ浜松は「音楽の都・浜松」を目指すなかで中心的な拠点施設として位置づけられ、市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため平成6年に設置されたが、開館から18年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。
工事内容	<p>1 大ホール舞台機構制御システム更新工事 614,250 千円</p> <p>工 事 内 容：大ホール舞台機構制御システムの更新 (H24-H25 債務負担行為)</p> <p>工 事 期 間：平成25年11月～平成26年2月まで (4ヶ月間) 工事期間中は大ホールを利用休止する。</p> <p>システム概要：操作卓での操作により、吊物及び床の各機構を動作し、多様化する舞台演出に対応すべく舞台設備等を逐次動作させ、最適な位置に配置することを制御するシステム。</p> <p>2 大ホール反響板昇降装置改修工事 20,559 千円</p> <p>工 事 内 容：大ホール反響板昇降装置の更新工事</p> <p>工 事 期 間：平成25年11月～平成26年2月まで (4ヶ月間) ※大ホール舞台機構制御システム更新工事と同時期に行なう。</p> <p>装 置 概 要：背面、側面及び天井面の反響板を必要に応じ昇降するための駆動装置。</p>

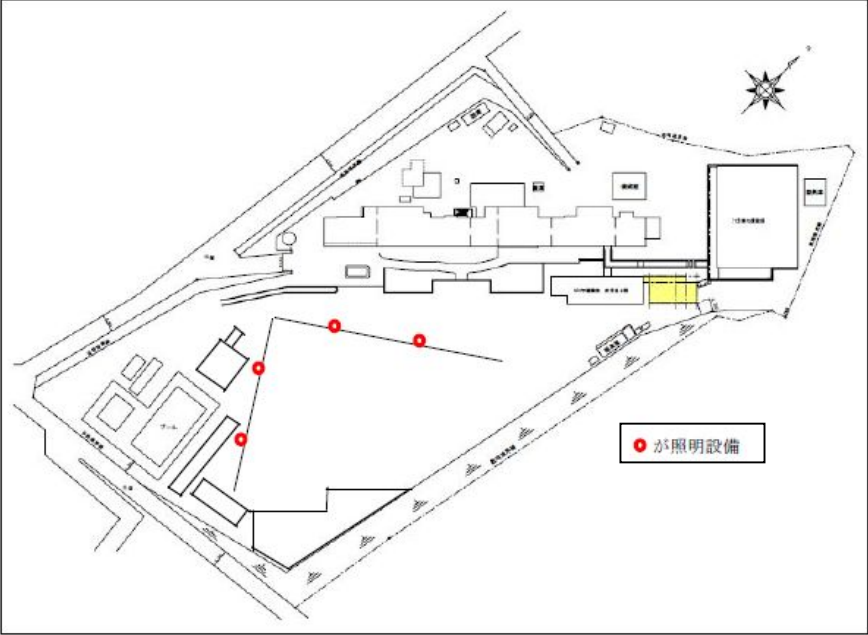
項目	鴨江別館のアートセンター化について (鴨江別館管理運営事業)						市民部	
							文化政策課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	役務費	委託料	使用料			
13,970		1,052	43	12,845	30			

目的	鴨江別館を文化芸術の創造、発信、交流の場として、市民に広く開かれたアートの拠点施設として設置する。
背景	美術館やホールなど芸術作品の発表の場はすでに全国に普及しているが、今日では完成された作品を鑑賞するだけでなく、芸術家の考え方やプロセスも芸術の一環ととらえたアート活動の場が求められている。
内容	<p>1 施設内容</p> <p>歴史的な建造物である鴨江別館を、芸術作品の制作、発表、展示を気軽に行える場とし、アーティストの制作活動や、アートワークショップによる市民交流、展示会等芸術文化イベント等を発信するアート活動の拠点としていく。</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設には「工房」を設置し、国内外の若手アーティストに長期制作活動の場として提供する。また、制作過程は来場者に公開する。 ● 施設運営には「アートコーディネイター」を置き、アートイベントやワークショップなどの事業の企画運営、工房で制作を行うアーティストとの調整、アーティストや市民との交流の場の創出を行う。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 創作活動や交流の拠点 </div> <p>2 指定管理料 8,365 千円 (5ヶ月間、11～3月) ※20,075 千円/年</p> <p>3 開設予定日 平成 25 年 11 月 1 日</p> <p>4 沿革 昭和 3 年 静岡県警察署として建設 昭和 47 年 浜松市が取得 (浜松市社会福祉会館、浜松市施設管理協会事務所として利用され、近年は音楽活動団体の練習場として利用) 平成 20 年 昭和初期の建築様式を伝える建物として保存が決定 平成 22 年 耐震補強工事実施</p>

項目	新活動拠点施設整備事業						市民部	
							文化政策課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事請負費	備品購入費	需用費	役務費		
532,214		8,661	490,317	23,581	9,229	426		

目的	旧あいホールを男女共同参画推進機能と、文化芸術活動の創造拠点機能を併せ持つ複合施設として整備し、浜松市の男女共同参画の推進及び文化の振興を図る。					
背景	旧あいホールは、男女共同参画を推進する市民団体の活動拠点施設として市内唯一の施設であり、また、青年婦人会館として設立された経緯から音楽団体など各種文化団体の活動拠点であった。耐震性能が低く、築34年を経て設備や内外装等の老朽化が進んでいるため、平成22年3月、施設を閉館、解体し、新たな施設として整備することとなった。					
内容	1 施設の概要 名称 男女共同参画・文化芸術活動推進センター 所在地 浜松市中区幸三丁目3番1号 (延床面積：2,587.9㎡) 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 (一部鉄骨造) 建物構成 ホール、利用室、楽器保管庫、面談室、託児室等					
	2 事業費 (単位：千円)					
	費目	内容	23年度 決算	24年度 2月補正後	25年度 当初	総事業費
	委託料	工事監理、測量等	3,570	6,704	8,661	18,935
	工事請負費	建築・電気設備・機械設備	0	379,690	477,960	857,650
		信号機移設	0	0	12,357	12,357
	備品購入費	初度調弁	0	0	23,581	23,581
	その他	役務費、需用費等	544	0	9,655	10,199
	合計		4,114	386,394	532,214	922,722
	3 開館予定 平成25年11月頃の予定					

項目	小中学校スポーツ施設夜間照明等整備事業						市民部	
							スポーツ振興課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事 請負費					
24,651		2,040	22,611					

目的	学校スポーツ施設利用者の利便性の向上を図るため、和地小学校グラウンドに照明設備を設置するもの。
背景	<p>浜松市の学校スポーツ施設の利用については、市民の健康増進やスポーツ活動の場として、年間 180 万人を超える市民が利用者している。</p> <p>今回施工する和地小学校は、近隣夜間可能施設として湖東中学校があるが、和地地区・伊佐見地区の両住民が利用しているため、夜間利用数が市内平均利用数よりも多く、グラウンドの確保に苦慮している現状がある。これを受け、和地地区自治会連合会等より要望書が提出されている。</p>
内容	<p>1 事業費 24,651 千円</p> <p>2 工事内容</p> <p>和地小学校グラウンド夜間照明設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幹線設備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配線、キュービクル改造 ○ 電灯設備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備 4 基新設 (照明設備 1 基につき照明器具を 10 灯設置) <div style="text-align: center;">  <p>●が照明設備</p> </div>

項目	舞阪文化センター機能移転改修事業					市民部	
						生涯学習課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	役務費	委託料	工事請負費			
68,562		762	2,800	65,000			

目的	生涯学習機能を備えた舞阪文化センター廃止に伴い、舞阪協働センター内に生涯学習機能を移転する。																																		
背景	舞阪文化センターは、築38年が経過し老朽化が著しく、今後の維持管理・改修に相当の経費が予想される。加えて、他施設と比較して規模が大きいため、使用率は低く、利用者数も減少傾向にある。																																		
内容	<p>1 事業内容</p> <p>舞阪文化センターの利用実態を勘案し、施設規模の見直しを行い、舞阪協働センター（4階建て）の、1階、2階に生涯学習機能を移転させるための改修工事を実施するもの。</p> <p>2 事業費</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">予算内訳</th> <th colspan="3">機能移転工事</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料</td> <td style="text-align: center;">96</td> <td style="text-align: center;">762</td> <td style="text-align: center;">858</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託料</td> <td>設計</td> <td style="text-align: center;">4,400</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4,400</td> </tr> <tr> <td>工事監理</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2,800</td> <td style="text-align: center;">2,800</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>工事費</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">65,000</td> <td style="text-align: center;">65,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">4,496</td> <td style="text-align: center;">68,562</td> <td style="text-align: center;">73,058</td> </tr> </tbody> </table>			予算内訳		機能移転工事			H24	H25	合計	役務費	手数料	96	762	858	委託料	設計	4,400	0	4,400	工事監理	0	2,800	2,800	工事請負費	工事費	0	65,000	65,000	合 計		4,496	68,562	73,058
	予算内訳		機能移転工事																																
H24			H25	合計																															
役務費	手数料	96	762	858																															
委託料	設計	4,400	0	4,400																															
	工事監理	0	2,800	2,800																															
工事請負費	工事費	0	65,000	65,000																															
合 計		4,496	68,562	73,058																															
	<p>3 事業計画</p> <p>平成24年度 機能移転工事設計 平成25年度 機能移転工事</p>																																		

項目	北部地域図書館建設事業						市民部	
							中央図書館	
25 事業費(千円)	内容 (千円)	委託料						
9,747		9,747						

目的	<p>北部地域に図書館を建設することで、新たな利用者の増加、更なる利用率の向上を図るよう図書館サービスを提供していく。</p>
背景	<p>現在、22 館 1 分室で図書館サービスを提供しているが、北部地域（都田、新都田、三方原地区）は図書館サービスが手薄となっている。地域住民からも、図書館建設について要望がある。</p>
内容	<p>1 事業内容 ユニバーサルデザイン・省エネルギーを考慮し、また医療・法律・暮らしなど課題解決支援、子育て支援、学校との連携を強化した図書館として建設する。</p> <p>2 建設地予定地 北区都田町地内 浜松市立都田南小学校東側</p> <p>3 予定規模 敷地面積 約 5, 0 0 0 m² 延床面積 約 1, 1 0 0 m² 収蔵能力 約 7 0, 0 0 0 冊</p> <p>4 事業内容 地質調査委託 基本設計委託</p> <p>5 開館予定 平成 2 8 年 3 月頃を予定</p>

項目	天竜区船明地区墓地整備事業						市民部	
							市民生活課	
25 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	使用料及び 賃借料	工事請負費	備品購入費	その他		
121,200		6,700	6,630	106,500	700	670		

目的	核家族化や宗教観の多様化等に対応した市民への安定的な公営墓所の供給を行う。
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 墓所整備 (736 区画)、管理棟整備 <p>2 墓地の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地 船明土地区画整理事業内保留地 43,333.32 m² 区画整備数 5,799 区画 (予定) 整備工事 平成 23 年度～平成 27 年度 (予定) <p>3 貸付開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 4 月より整備済の 826 区画を貸付開始 普通墓所(2.00 m²) 第 1 期分(H23 整備 91 区画) 完売 普通墓所(3.00 m²) 第 1 期分(H23 整備 735 区画) は残り 365 区画 (H24. 12. 31 現在) 第 2 期分として、平成 25 年 4 月中旬より普通墓所 2.00 m²(460 区画) 及び同年の夏頃より芝生墓所(606 区画) の貸付開始 